

子宮頸がんヒトパピローマウイルス(HPV)

女性の体の中にある子宮は洋ナシをさかさまにした形をしていて、上の丸い形をした部分を体部、下の細長い部分を頸部と言います。この頸部にできるがんを「子宮頸がん」と言います。

子宮頸がんの原因には、性交渉で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)が深く関与していることが判明しています。

HPVは、ヒトの皮膚や粘膜にいたるごくありふれたウイルスで、多くの女性が一生に一度は感染すると言われています。多くは、感染しても自然治癒しますが、一部は細胞の形を変えて、がんへと変化させていきます。

HPVは、100種類以上もあり、その中で子宮頸がんの原因となるものが15種類ほどあります。そのうち、特に発がん性の高い2種類の型のHPVの感染を予防するワクチンが昨年12月から使用できるようになりました。このワクチンを接種した

場合、この2つの型の感染をほぼ100%防ぐことができ、子宮頸がんの全体の7割を予防することが期待できます。

しかし、接種の時点ですでに感染している場合や、がんを発症している方には、予防効果はありません。また、それ以外の型のHPV感染を、完全に防ぐことは不可能です。

最も予防効果が望めるのは性交開始前の女児ですが、ワクチンを打ってから有効期間や何歳まで接種して効果があるかは現在のところ分かっていません。大事なことは、ワクチンを接種しても、子宮頸がん検診は欠かせないということです。子宮頸がん検診は、20歳以上で、一度でも性交渉経験のある女性の方が対象です。自分は大丈夫と過信せず年に1回は検診を受けるようにしましょう。

(健康福祉課 保健師)

学校コーナー

栽培体験活動を通して

五霞西小学校

確かな学力や豊かな心の育成には、体験的な活動はとて大切でです。五霞西小では、学年ごとに様々な体験活動を行っており、子どもたちの意欲を高めながら、楽しく学んでいます。

各学年で栽培体験活動

本校の敷地内にある畑や花壇を活用して、各学年では、花や野菜など様々な栽培活動を行っています。

1年生は、あさがお、ひまわり、コスモス、オシロイバナ、わた、2年生は、ミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、サツマイモ。3年生は、ポツブコーン。4年生は、ゴーヤ、サツマイモ。5年生は落花生、さやえんどう。6年生では、じゃがいもなど、数多くの種類を栽培しています。

また、5年生では、敷地内にある田んぼで田植えを行いました。総合的な学習の時間の一環として行ったものですが、実際に田んぼに入った体験をもつ児童はほとんどなく、貴重な体験をすることができました。当日は、地域の方にご協力をいただき、しろかきの後、稲の植え方を教わり、田んぼにみ



田植え



さつまいもの苗植え

んなで一列になり、一斉に田植えを始めました。最初はおそろのおそろの田んぼに入っていました。次第に慣れ、1時間程度で田植えが無事に終わりました。これから、水の管理等を行いながら、稲の生長を観察し、9月にはお米がたくさん実り、収穫できることを楽しみにしています。

こうした栽培体験を通して、植物や野菜の生長について学ぶとともに、勤労の意義や生産の喜び、大切さを感じてほしいと思います。

ご意見・ご要望をお待ちしています。

あて先
●町長(直通)
FAX (84) 1550
●企画財政課広報担当
☎(84) 1111(内線221)

8月の納税		納期限 8月31日(火)です	
町 民 税	2 期	町民税務課	税務G 内線 2 5 2
国民健康保険税	2 期	町民税務課	税務G 内線 2 5 4
後期高齢者医療保険料	2 期	町民税務課	税務G 内線 2 5 3
介護保険料	2 期	健康福祉課	社会福祉G 内線239
保 育 料	8 月 分	健康福祉課	社会福祉G 内線237
学 校 給 食 費	5 期	教育委員会	学校教育G ⑧41462

人口と世帯 (7月1日現在)	
総人口	9,539人(- 7)
男	4,778人(- 4)
女	4,761人(- 3)
世帯数	3,032世帯(± 0)
※()内は前月比	